



2学期がスタートしました

35日間の夏休みが終わり、長い2学期が始まりました。ふり返ると、1学期の終業式の中で、勉強、部活を始め、とにかく健康で、有意義な休みにしましょうという話をしました。頑張った生徒には頑張った分、必ず2学期以降に成果として表れます。頑張れなかった生徒は、休みは終わってしまいましたので、夏休みの分をこれからの日々の中で取り返しましょう。

さて、今日から中身の濃い2学期が始まりました。学園祭、強歩大会、新人大会をはじめたくさんの行事が待っています。生徒会最大行事の炎翼祭では、クラスの団結、学年の団結、全校生徒の団結など、取り組みは厳しく辛いこともたくさんあると思いますが、こういう行事からいろんなことを学んでほしいと思います。そして行事を通して改めて自分の学級が一番、自分の学年が一番、自分の学校が一番という意識を持って頑張ってもらいたいと思います。そして学園祭が終わると3年生はいよいよ進路実現に向けて、本格的に取り組んでいかなければならなくなります。また、1・2年生は新人戦、そしてその後は3年生にかわり、学校をひっぱっていく立場となります。ぜひ、この2学期も目標をもって生活してほしいと思います。本気で熱くなって頑張っていきましょう。

県総体、関東大会、各種大会、コンクール等の結果

7月下旬から、県中学校総合体育大会、各種コンクール、関東大会等が開催されました。どのチーム、どの選手も最後まであきらめない姿や、「さわやかなあいさつ」や「マナーの良い塩中」を見せてくれました。また、関東大会に出場した選手は山梨県の代表として必死にがんばる姿やベストを尽くし、本気でプレーする姿がありました。試合や発表以外でも他県の方々から挨拶や態度についてお褒めの言葉をいただきました。結果は次の通りです。

●県総体

◇バスケット男子	優勝（関東大会出場）
◇ハンド女子	優勝（関東大会出場）
◇ハンド男子	第2位（関東大会出場）
◇ソフトボール	第3位
◇柔道	個人73kg級 第3位 池田 壮介 個人81kg級 第2位 秋鹿 竜童（関東大会出場）
◇陸上	共通男子1500m 第4位 芦澤 由都 共通男子3000m 第3位 芦澤 由都（関東大会出場） 共通男子棒高跳び 鶴田 大翔（通信陸上の成績により関東大会出場） 2年男子800m 第3位 向井 勘九朗 1年男子走り幅跳び 第1位 廣瀬 王希（関東大会出場） 1年男子1500m 第3位 武藤 瑛太（関東大会出場） 共通女子走り高跳び 第1位 廣瀬 理央菜（関東大会出場） 共通女子四種競技 第2位 廣瀬 理央菜 共通女子800m 第7位 中村 千香 共通女子1500m 第4位 中村 千香 共通女子800m 第8位 雨宮 紗良 1年女子走り幅跳び 第3位 奥村 望叶（関東大会出場） 1年女子4×100mR 第6位 奥村望叶・廣瀬萌衣・萩原咲・野沢実優 1年女子100m 第8位 奥村 望叶 1年女子800m 第7位 樋口 寧音 2年女子100mH 第5位 萩原 琉妃那 1年男子総合 第3位 1年女子総合 第5位 共通女子総合 第4位

●県吹奏楽コンクール 中学校B部門 金賞

●県マーチングコンテスト 西関東大会出場

●関東カラーガードコンテスト2022 ジュニアの部 銀賞

●関東大会

◇ハンドボール男子	1回戦 対 東久留米西（東京）	22-36	1回戦敗退
◇ハンドボール女子	1回戦 対 甘楽（群馬）	26-18	1回戦勝利
	2回戦 対 若松（千葉）	14-28	2回戦敗退
◇バスケットボール男子	2回戦 対 東海大管生（東京）	40-60	2回戦敗退
◇柔道 個人 男子81kg級	秋鹿 竜童 対 玉木田（多古・千葉）		1回戦敗退
◇卓球 個人 男子シングルス	岩間 俊汰 対 出崎（南河内二・栃木）		1回戦敗退
◇陸上	共通男子3000m決勝	第19位 芦澤 由都	
	共通男子棒高跳び	第16位 鶴田 大翔	
	1年男子1500m予選	第11位 武藤 瑛太	
	共通女子走り高跳び	第21位 廣瀬理央菜	
	1年女子走り幅跳び決勝	第8位 奥村 望叶	



※裏面もご覧ください・・・

全国学力学習状況調査(4月19日 3年生実施) 結果の概要についてのお知らせ・・・

* 4月19日に行われた全国学力学習状況調査の結果(3年生実施)について概要をお知らせします。また甲州市教育委員会から配布される<家庭用資料>令和4年度全国学力学習状況調査結果のお知らせのプリント(A4版)も参考にしてください。

○ 教科に関する調査について

本校の結果は国語・理科とも全国平均±2ポイント範囲にあり、ほぼ全国標準並といえます。数学については、全国標準より4ポイント下回っていました。

① 国語では・・・

文脈に即して漢字を正しく書くこと、自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書くこと、事象や行為、心情を表す語句について理解すること、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することなどが課題です。朝読書を大切にし、さらに読書量を増やしたり、わからない言葉が出てきたとき辞書やタブレットを活用する習慣をつけたり、論理的に話をしたり、発表することを心がけることが大切です。

② 数学では・・・

「数と式」「図形」「関数」に課題が見られます。事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明したり、筋道を立ててじっくり考え、事柄が成り立つ理由を説明したり、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することが大切です。

③ 理科では・・・

「エネルギー」「地球」を柱とする領域に課題が見られます。実験の計画を検討して改善できるようにし、考察を行った他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善できるようにすることが大切です。また表やグラフ、図などのデータから関係性を見だし、条件等を明らかにする場面では、自分の考えを書くなどして深めていくことが大切です。

○ 生徒の質問紙調査の結果について

国語への関心・数学への関心・規範意識・自己有用感・生活習慣・学習習慣・地域への関わりなど、ほとんどの項目で、良い方に全国を大きく上回る結果となっています。

課題としてあげられることは、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりの読書時間」の数値が全国平均を下回っています。朝読書だけではなく、読書量を増やすことが読解力の向上につながります。また、国語、理科は大切だと思っても、「国語、理科の勉強を好きですか」という質問への答えは、全国に比べ低くなっています。「好きこそものの上手なれ」ということわざがありますが、まず国語、理科を好きになることが、学力向上の鍵になります。

○ 本校の実践について

本校では「自ら学び、確かな学力を身につける生徒」をめざして、全校で取り組んでいます。

①「Q-Uを活用した集団づくり」の手立てとして・・・

学習規律の確立、Q-Uの分析と活用、話し合いのルールの確立・ルールとリレーションの育成等の実践を行っています。

②「学力向上に関する取り組み」として・・・

CRT、全国学力学習状況調査、県学力把握調査、定期テスト、復習確認テスト、リーディングスキルテストの分析を踏まえた授業改善を行っています。特に授業の構造化をはかり、わかる授業づくりに努めています。またICT端末を活用しての双方向での学習活動についてさらに充実させ、実施していきたいと考えます。また、ステップアップノート（家庭学習ノート）やステップアップテストを実施しています。年々、ステップアップノートの内容も充実してきており、参考ノートは教室や廊下に掲示されています。有効な学習方法として、「その日にあった授業内容をノートにまとめ直す」というものがあります。学んだことをその日のうちに再度復習することで、記憶への定着が確かなものになります。（エビングハウス忘却曲線）さらに、それを誰かに説明するとアウトプット効果も生じ理解が確かなものになります。

ノートを作成した後、家族に説明するなどの習慣を形成してください。子どもだけの孤独な学習ではなく、家族でも応援するという意味あいからも、是非、実践してみてください。